

『企業と会計の道しるべ』お詫びと訂正

本書第1版第1刷につき、以下の誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。

中央経済社

該当箇所	誤	正
p.71 図表 5-5 残高試算表の合計金額	(借方) <u>1,900,000</u> (貸方) <u>1,900,000</u>	(借方) <u>2,900,000</u> (貸方) <u>2,900,000</u>
p.75 精算表・残高試算表の合計金額	(借方) <u>1,900,000</u> (貸方) <u>1,900,000</u>	(借方) <u>2,900,000</u> (貸方) <u>2,900,000</u>
p.83 図表 6-1	II 投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の <u>取得</u> による収入 有価証券の <u>取得</u> による収入	II 投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の <u>売却</u> による収入 有価証券の <u>売却</u> による収入
p.95 設例 7-1 解答	自己資本比率＝(中略)＝ <u>60.7%</u>	自己資本比率＝(中略)＝ <u>59.2%</u>
p.115 設例 9-1 問題文	(取得原価 <u>40</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した) また、製品 α の販売価格は 1 個 <u>1,200</u> 円であり、.....	(取得原価 <u>480</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した) また、製品 α の販売価格は 1 個 <u>120</u> 円であり、.....
p.116 解答・解説、6 行目～	ここで注意したいのは、減価償却費です。機械は <u>40</u> 万円で買っているのですが、4 年間使えるので(耐用年数 4 年)、定額法という方法を用いて 1 年分の減価償却費を <u>10</u> 万円と計算しています。機械を買うために支払った額ではなく、 <u>1 年分の減価償却費が経費</u> になります。4 年間は <u>毎年</u> 10 万円ずつ、必ず経費が発生するということです。	ここで注意したいのは、減価償却費です。機械は <u>480</u> 万円で買っているのですが、4 年間使えるので(耐用年数 4 年)、定額法という方法を用いて 1 年分の減価償却費を <u>120</u> 万円、今回は <u>1 ヶ月</u> の計算をしていますので、 <u>月 10 万円</u> と計算しています。機械を買うために支払った額ではなく、 <u>減価償却費が経費</u> になります。4 年間は <u>毎月</u> 10 万円ずつ、必ず経費が発生するということです。
p.116 解答・解説の損益計算書	・売上高 72 万円 (6,000 個× <u>1,200</u> 円) ・期末製品棚卸高60 万円 (6,000 個× <u>1,000</u> 円)	・売上高 72 万円 (6,000 個× <u>120</u> 円) ・期末製品棚卸高60 万円 (6,000 個× <u>100</u> 円)
p.117 設例 9-2 問題文	(取得原価 <u>40</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した)	(取得原価 <u>480</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した)
p.119 設例 9-3 問題文	(取得原価 <u>40</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した)	(取得原価 <u>480</u> 万円、耐用年数 4 年、残存価格 0 とし、定額法で計算した)

以上